

平成29年度 第2回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

平成29年5月25日（木）午後1時30分～午後3時20分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、平井育子、山本慎介、谷本由美子、西村正雄、西村隆義、
広田弥一郎、岸本美鈴、福山裕正、長谷川浩司、中村史生、亀谷幸子
以上12名（敬称略）

関係課 なし

事務局 田中用瀬町総合支所長、沖田副支所長、岡本産業建設課長、谷口市民福祉課長、
掘場地域振興課課長補佐

傍聴者 なし

【次第】

1 開会

2 あいさつ 西川会長

3 議題・報告事項

（事務局 資料に基づき説明）

（1） 新市域振興ビジョン推進計画について

（会長）

（1）について、変更や追加について、意見等は反映できるか。

（事務局）

ご意見等を伺いたいと思いますが、予算を伴う場合は来年度以降の検討となります。

（委員1）

同じ日に町内でイベント等が重なった場合があったが、各行事等を運営している者の連携や交流、情報共有の場を設定してほしい。

用瀬を、点ではなく一つのエリアとしての視点で捉えて、情報等共有すれば、集客や情報発信に繋がると考えるところであり、要望したい。

（会長）

イベント情報の提供を支所にすれば、情報共有でき、イベントの分散ができるのでは。

(委員 1)

イベントの重複自体は問題ではないが、横の連携があれば、より魅力あるものになるのではないかと思っている。

また、町内には加工グループ等あるが、人を育成することに取り組まないと、いつまでも高齢者がやっている状況で魅力がなく、次に繋がらないのが現状ではないか。

行事の情報提供だけでなく、マッチングの仕組みや技術の伝達といった人材育成の部分が、今必要であると考えてるので、検討してほしい。

(事務局)

後継者問題はどこにもあると思っています。相談や事業など、支所にも情報提供してほしいと思います。その中で連携等をとっていけるものもあるかと考えます。

人材育成や連携等については、ご意見のとおりです。

エコツアーやもちがせコミュニティ等、日本財団の補助を受けているものもある中、単発ではなく、町内で連携を取って事業実施してはとの声も聞いているところで、積極的にかかわっていきたいと考えています。

(委員 2)

実は、本日日本財団の補助を受ける事業の件で話し合う。連携と人の育成をテーマにしてほしいと考えている。

(委員 3)

後継者問題については、行政に頼るのみでなく、地域で取り組まないといけない。外から来てもらうばかりでなく、今地域にいる若者を育成することが大切と思う。

行政に実態を把握していただき施策の勉強会等開催して、地域の若者が参加して、育てていけるようなことを心掛けてほしいと考える。

(委員 3)

市行造林について、ここに来てなぜ一気に間伐に取り組むのか、どのような計画となっているのか。

また、町行造林について、50年間の契約満期が目前となっているところだが、その後の方針等が地元を示されていない。造林公社等は、満了の数年前から説明をされている。市の対応は不十分ではないか。

(事務局)

市行造林事業は、森林経営計画に基づき5か年計画で実施されているものです。

この事業では、切捨間伐を含めた間伐について、森林経営計画に沿って間伐面積を確保する必要があります。

平成29年度はその最終年にあたり、今回切捨間伐を含めた間伐面積約50ヘクタールのうち約35ヘクタールを用瀬で実施する予定となっています。

次期の新たな5か年計画については、市全体を勘案しながら森林経営計画を策定することになります。

また、町行造林50年間の契約満期を迎えるにあたって。市の対応が不十分ではないかについては、把握できていないこともあり、確認させていただきたいと思います。

(委員 3)

市行造林は市が管理する契約で期限があるものであるから、行政は期限等を把握し、今後の方針等については、期限前に地元の方針等説明をするべきものとする。計画どおり間伐等されることは構わないが、50年契約の満了後の方向を示さないままでは、ビジョンの計画そのものが成り立たないと思う。

(委員 4)

鷹狩地内の旧工場跡地で工事が進められているが、何になるのか地元は把握していない。地元は不安を感じており、どこに聞けば情報が得られるか。

(事務局)

支所にもはっきりした情報は入っていないので、もう少し情報収集をさせていただきたいとします。

(委員 3)

用瀬パークの掲示板について、佐治も含めての利用を前向きに検討していただきたい。

(事務局)

利用方法や鍵の管理等について、国土交通省と協議を行っています。佐治支所からの利用の要望も聞いていますので、関係者で検討をする予定です。

(2) 用瀬地域振興会議視察研修について

(事務局)

視察先については、庁舎の利活用として、図書館が併設されている支所を検討しました。運営の方法等視察研修したいとします。

また、空き家対策を実施しているNPO法人の視察も予定しています。

時期は7月上旬頃として、相手方に連絡していますが、宿泊先等の予約も必要なので、日にちを決めていただきたいとします。

[各委員予定等確認]

(会長)

本年度の南ブロック地域振興合同会議の開催日は未定だが、昨年度は7月下旬に開催されていることから、視察は早めの7月6、7日とする。

(事務局)

後日、出欠と併せて、視察先に提出する質問等をお願いする文書を送りますので、ご返信ください。

(3) その他

(委員 3)

保育園統合の件で、昨年自治会長会では平成28年度に用地を買収するとの説明があったが、予定が遅れているように思っている。地域振興会議ではどのような説明をこれまでされたのか。

(事務局)

有利な起債対象とするため、用地買収と造成工事を同一年度に施行する必要があり、平成29年度に用地買収となったようです。契約、名義変更とも終了しています。

現段階は、建築の設計事業者をこれから選定するところです。造成設計はすでに終わっており、工事も今年度中に着手します。用水路に関する工事もあることから、実際の着手は稲刈り後になると思われます。

今後は、保育園の保護者等から要望等をお聞きして、設計を詰めていく段階になると思います。

(委員3)

以前、場所は契約前で回答できないとあったが、どうか。

また、保護者だけでなく地域の要望も聞いて、設計に織り込みたいと本庁で回答しているとの認識を持っている。地域に説明する機会はあるのか。

(事務局)

すでに契約を終えており、公表できます。場所は保健センター前となっています。

地域への説明については、方法等検討します。

(委員4)

保育園に関して、場所は卒園した保護者で決めたことで、現在の通園している保護者は知らなかったといったことも聞いている。建物に関しての要望は、これから入る人の意見も聞く機会を設けるなど、納得できるようなものにしてほしい。

(委員5)

今年度の保育園役員には今後も在園児がいる保護者が選定されており、未入園児の保護者の方の参加もあるので、意見反映できると思われる。

(事務局)

各保育園の保護者会会長、副会長に加え、開園後も保護者としておられる方を検討委員にお願いしており、意見をお聞かせいただくようにしております。

4 各課事務連絡等

(事務局 行事予定等の説明)

5 次回日程について

(会長)

次回は南ブロック合同会議となるが、今のところ日程は未定。会場は佐治となるので、集合して行くことになろうかと思われる。よろしくお願ひしたい。

6 閉 会